

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
プロダクトデザイン実習 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	明石 竜太郎			実務経験	有	職種	陶芸家				
担当教員紹介											
自身での陶芸工房を構え、個展を中心に活動。陶芸教室を運営し、デザイン、陶芸、木工、デッサン等の物作り実習の指導経験を持つ。											
授業概要											
この授業では、出題される課題のテーマを講師から解説を受け、素材の特性、道具の使い方から、デザインの適正を理解して、企画提案する実習授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、「企画提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身の実践し、プレゼンテーションでできるようになることを目指す。											
到達目標											
この科目では、学生が、商品企画に取組むことでプロダクトデザインをプロセスから学び、アイデアスケッチ・立体モデルの制作・図案の作成・提案モデルの制作・モデルの撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーションと提案型デザイン手法で、検証を重ねながら試作し、プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 素材の選択、サイズの決定、カラーの選択、使用環境の選択を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、講師から製品の制作技術の解説を受ける。道具の使い方から素材の特性や適正など、製品が出来る一連の流れを実習を通して学ぶ。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生のデザイン提案力を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、デザインの総合的能力を自分自身で高め、活用できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 40% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ 20% 制作準備と過程を評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	陶磁器の箸置き① 前例の紹介 コンセプト立案 アイデアを練る										
第2回	陶磁器の箸置き② 原型を制作 石膏型を制作										
第3回	陶磁器の箸置き③ 量産 乾燥する 着色 彫るなど装飾を施す										
第4回	陶磁器の箸置き④ 粘土陶芸 素焼き 陶芸削り磨き										
第5回	陶磁器の箸置き⑤ 陶芸本焼き 本焼き										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
プロダクトデザイン実習2	
第6回	掛け時計のデザイン① 前例の紹介 コンセプト立案
第7回	掛け時計のデザイン② アイデアを練る
第8回	掛け時計のデザイン③ 制作 陶磁器 木 金属 FRP
第9回	掛け時計のデザイン④ 制作 陶磁器 木 金属 FRP
第10回	掛け時計のデザイン⑤ 制作 陶磁器 木 金属 FRP
第11回	掛け時計のデザイン⑥ 制作 陶磁器 木 金属 FRP
第12回	掛け時計のデザイン⑦ 撮影 パッケージ制作
第13回	掛け時計のデザイン⑧ ボード制作
第14回	掛け時計のデザイン⑨ プレゼンボードデータ提出
第15回	掛け時計のデザイン⑩ プレゼンボード 講評会 全体のまとめ